○議長　山崎常吉の挨拶（愛知縣會議員）

世界的經濟恐慌下にプロレタリア解放のために闘ふ全日本の左翼には常に彈圧が加へられつつある。その彈圧の嵐の中にわが日本勞働組合總評議會第二回全国大會が、此のブルジョアの造つた公會堂に於て開かれやうとしてゐる。

現在の世界的恐慌はどこまで進展するか、その深さを知ることが難かしい。この非常時に際して、客觀的情勢は一方には勞農大衆を裏切つてファッショ化する者が續出すると共に、又他の一方はレーニンの言葉をかりて言へば左翼小兒病者、即ち口には徒らに革命的言辞を弄して次から次へと勞働者を惑しつつある。かかる情勢下に於て我らは不健全なる革命病患者と闘つて、眞の左翼の立場を決定すべき大會が來た。此の時に當つて私は同志レーニンの言つた教訓を思ひ起す